



地域を愛し、地域に愛される社協を目指して

第24号 2023 9/15発行

公津地区 社協だより

〈主な内容〉

- 令和5年度活動方針……………1
- 「ふれあい・いきいきサロン」バス旅行……………2
- 認知症フレンドリー講座……………3
- 台方元気クラブの紹介……………4

発行者 公津地区社会福祉協議会
 責任者 宮本 賢治
 連絡先 0476 (23) 1573



成田市公津地区社会福祉協議会 令和5年度活動方針

会長 宮本賢治

公津地区にお住まいの皆様には、日頃より成田市公津地区社会福祉協議会（以降、公津地区社協）の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。公津地区社協は地区住民の皆様が会員であり、民生委員・児童委員、各区長・自治会長をはじめ、地区内の福祉に関わる団体や組織の代表者の方々に理事としてご尽力頂いております。引き続き本年度も宜しくお願い致します。「誰もが安心して暮らせるふれあい（交流）と温もりのある福祉のまち成田」の実現に向けて公津地区社協は地域福祉に取り組んで参ります。

『つうブリッジ』「地区住民の皆様すべての人を孤立させない取り組み」公津地区社協では地域内の福祉に関わる団体や組織の方々に『つうブリッジ』への参加を呼びかけ、支え合いの仕組み作りを推進し、複雑多様化する福祉のニーズにこたえて行く所存です。

『元気クラブ』令和四年度から活動を開始した事業で、地区別に協議し各自治会等と協働にて開始された『元気クラブ』の取り組みは、「介護予防と居場所づくり」を目指しています。参加された皆様には大変好評で皆さんが次の開催を楽しみにしている程です。地区ごとに内容は異なりますが、地域包括支援センター、地区関係者と協働で無理なく長く続けて行きたいと思えます。

『敬老会』三年間コロナ感染症のために様々な活動が制限されていましたが、ようやく落ち着いたように思われます。本年度は四年ぶりに敬老会を開催出来る予定です。例年は中学校体育館でしたが、成田国際文化会館で開催することになりました。初めての大きな会場ですが公津地区社協と関係者が一丸となって成功させたいと思えますので、多数のご参加をお願い致します。



令和5年度 役員	
会長	宮本 賢治
副会長	村嶋 隆美
常任理事	大谷 正子
	清宮 英雄
	片寄 照文
	遠藤美代治
	中野 孝子
	伊藤 修一
	高木 瓊子
	蕨 昭弘
書記	谷 優
	小川 忠
	折原 繁
	吉岡 芳江
	泉水 康男
	小川 康子
監査	木村 保男

四年ぶり 『ふれあい・いきいきサロン』バス旅行

三月十四日、三年間コロナ禍のため、中止になっていました『ふれあい・いきいきサロン』バス旅行が実施されました。並木町の七十歳以上の方々を対象にバス二台、実行委員含め計六十八名、茨城県の大洗町を中心に親睦を兼ね、旅行に行ってきました。九十四歳のご高齢の方も元氣よく参加され、楽しい旅行となりました。

朝方は、少し肌寒かったのですが、午後には青空になり、まぶしい日差しがさし、暖かく感じられる程でした。

旅行の行程は、大洗水族館、潮騒の湯、めんたいパーク。昼食は海を眺めての潮騒の湯で新鮮な刺身を頂きました。参加された方の中に「大洗まで来たので、是非とも干物が買いたい」と申し出があつたため、急ぎよ那珂湊の市場での買い物旅行会社の方が日程の中に入れてくれました。この計らいに皆さん

拍手をもつて喜んでおられました。バスは夕方五時頃、富里インターに着き、多くの方が手に土産物をいっぱい持って、帰りの途につきました。

宮本会長が最後の挨拶で「三年間『ふれあい・いきいきサロン』バス旅行が実施できませんでしたが、コロナの感染者が減つたため実施することができました。心待ちの方もおられたことと思います。そして、この旅行が無事に終わられることができて何よりでした」と述べていました。

久々のバス旅行が実施され、みなさん満足そうでした。来年もまたこのような楽しい『ふれあい・いきいきサロン』バス旅行が実施されることを実行委員共々願っております。



参加された方の感想

何回が大洗水族館は行ったことがありますが、何回行つても楽しいところです。サメの種類は日本一だそうです。私は、エトピリカやかわうそコーナーが好きです。そして、次の場所はめんたいパークでしたが、おにぎり美味しいと聞いていたので、バスから降りたらすぐ売店に向かいました。食べてみたら、たつぷり明太子が入っていて食べ応えがありました。急ぎよ那珂湊に行くことになり皆さん喜んでいました。

新鮮な魚が安くて種類も豊富でした。私は漁港は初めてだったので、今度またゆつくり来たと思います。今回、バス旅行で行つた場所はどれも楽しかったです。朝、曇で雨模様だったので、お天気も良くなつて、十分に満足した日帰り旅行だったと思います。



《明太子が大きい》



《干物が安い》

「認知症フレンドリー講座」 本人インタビューやVR体験から学ぶ

公津地区社会福祉協議会では、「公津地区のすべての人を孤立させない」を目的に福祉の問題と人々を結ぶ「こづつブリッジ」事業を展開しています。

その一環として、本社会福祉協議会主催の「認知症フレンドリー講座」が二月九日、保健福祉館において、朝日新聞社記者の坂田一裕氏をお招きして開催されました。認知症の方が見ている光景やにおいてはどうか、バーチャルリアリティー（VR）で疑似体験したり、においかーどで何のにおいなのか判別したりする体験は貴重でした。この講座には市内の福祉に携わる人を中心におよそ五十名の方が参加され、認知症の理解を深めていました。



認知症フレンドリーの考え方

認知症の人が安心して暮らせる
地域づくりを目指す

☆見守ることだけでなく、認知症の人が一人でも安心して外出できる環境作りを重視。

☆認知症の人としてではなく、「地域住民の一人」として接することを大切にしています。

☆徘徊していると見るのではなく、「どこに行きたいのか」に目を向けることが大事です。

☆認知症の人とコミュニケーションをとり、困っていることを聞き、自分でできることを考えて地域にフィードバックしていきましょう。



「認知症フレンドリープロジェクト」の活動を表すロゴ

認知症の人の行動には、それなりの理由があります。それを理解して、支えていくことが重要となります。

(朝日新聞記者 坂田一裕)



《認知症の方へのインタビュー》

認知症になっても変わらない暮らしができるように備えておくことで、不安を減らせます。予防よりこうした備えの支援にこそ力を入れてもらいたいのです。そのためにも、当事者の話をもっと聞いてほしいと思います。笑顔で人と交わることは、認知症になってからも気持ちを安定させ、周囲と支え合いを続けることにつながるでしょう。本人が楽しんでやっているのであれば、それも備えだと言えるはずです。 (「おれんじドア代表」丹野智文さん)

感想



私達もいずれ、もしかしたら認知症になるのではないかと。父親もいますし、不安もあり、是非勉強したいと思いました。VR体験をして、階段の所で錯視が見えるのはこわいですね。階段が急でおるのがこわいという錯視が見えてくるのかと、実際にびっくりしました。



〈VRで疑似体験〉

【台方元気クラブ年間計画】 実施日 毎月の第2火曜日

4月	◎オリエンテーション、体力測定①	◎は台方公民館で実施
5月	コミュニティバスに乗ってみよう	
6月	◎地域、家庭での防災対策（市役所の出前講座）	
7月	◎簡単なスマホの使い方（参加者で教え合っ、写真の撮り方やQRコードの読み取りなど）	
8月	◎そうめん流し（竹で作った本格的なそうめん流し）	
9月	◎「オレオレ詐欺」防犯講話（成田警察署からのお話）	
10月	秋の散歩（コミュニティバスを使って、甚平流しのコスモスの見学など）	
11月	◎トイレが近い！（脱水と水分補給の関係、包括センターからのお話）	
12月	◎餅つき（臼で餅つきをして、みんなで食べよう😊）	
1月	公津小学校1年生の昔遊びのお手伝い	
2月	◎絵手紙をかいてみよう	
3月	◎体力測定②、今年度を振り返って	



- ・お話を聞く活動後に、体操など体を動かす運動を行います。
- ・参加したい活動内容の日だけ参加して構いません。
- ・外での活動日が雨天の場合は室内でゲームや体操などをします。

😊 買い物が不便という事が話題に出ました。↓移動販売車が、台方の皆さんが集まりやすい場所に来てもらえるよう、関係機関に依頼中。

昨年十二月に、地域の六十五歳以上の方を対象にみんなで集まって何をしたのか、困っていることはないか等を出し合う「台方お茶のみ会」が実施されました。三回のお茶のみ会を経て、四月から「台方元気クラブ」になりました。

〜和気あいあい〜

「台方元気クラブ」スタート



防災の話



聞いたことを
いかしていきましょう！

気分は大人の遠足



コミュニティバス
みんなで乗って出発！

はりきって体力測定



片足立ちに挑戦
1分間できたら素晴らしい！



全力の力で
ギュー！



《台方元気クラブ担当者から》

★「参加者が一人でもやりましょ」と、当時の区長さんからの言葉は力強かったです。

★「農作業に追われる毎日だけど、台方元気クラブに参加するのが楽しい」おばあちゃんの「餅つきの時にあんこを作っておあげるよ」の一言など。皆さんの声に励まされています。

★実施後に毎回「台方元気クラブ便り」を作成し、回覧板で報告しています。地域の方々がよく見ておられるのが大変嬉しいです。

編集後記

新型コロナウイルスに翻弄された三年間でしたが、各地区での「元気クラブ」が本格的に活動を始めています。地域内の保育園や幼稚園、小中学校での運動会も平常通り開催され、各会場は弾む会話と笑顔で溢れていました。やっとコロナ前の日常に戻り始めた今日ですね。



編集委員

石原幸二・鎌田 薫
櫻井淳子・谷 亮子

丸 広美